

南国の特性を活かした地域づくり 事例集

1. 地域特性を活かしたまちづくり
2. 環境に優しいまちづくり
3. 災害に強いまちづくり
4. 高齢者が暮らしやすいまちづくり

平成25年 3月

お問合せ先
内閣府 沖縄総合事務局
開発建設部 建設産業・地方整備課
TEL: 098-866-1910

1. 地域特性を活かしたまちづくり

①景観に配慮した街並み整備

舗装、沿道建築物、街路樹等による沖縄らしい景観に配慮した街並み整備に特徴があります。

赤瓦を用い景観に配慮した建物



龍潭線(那覇市)

琉球石灰岩を用いた歩道と路肩



龍潭線(那覇市)

南国をイメージさせるヤシ並木



国道330号(北中城村)

琉球石灰岩による護岸と舗装



牧志・安里地区第一種市街地再開発事業
(那覇市)

②自然に配慮した街並み整備

南国特有の強い日差しや、急なスコール、台風時の強風等の自然に配慮した街並み整備に特徴があります。

ペDESTリアンデッキ(屋根付き)
(強い日差しや、急なスコールでも歩きやすい歩道)



モノレール旭橋駅周辺地区
第一種市街地再開発事業
(那覇市)

ショッピングセンターのアーケード
(強い日差しや、急なスコールでも歩きやすい歩道)



那覇新都心(那覇市)

無電柱化
(台風時等の断線による停電対策)



那覇新都心(那覇市)

再生水を利用した噴水
(節水に配慮し再生水を利用した噴水)



牧志・安里地区第一種市街地
再開発事業(那覇市)

③地域事情に配慮したソフト施策

沖縄県は年少人口割合、母子世帯割合が全国一高いため、子育て支援等のソフト施策に取り組んでいます。

自家用車やバスによる移動が中心であるため、車社会を考慮した回遊性向上等の様々なソフト施策に取り組んでいます。



商店街交流ひろば(学習スペース等)
(沖縄市)



コミュニティバス実証実験
(沖縄市)



駐車場案内板(沖縄市)

○年少人口の割合:全国一高い
母子世帯割合 :全国一高い

・年少人口割合(15歳未満÷総人口)

沖縄県 :17.89%

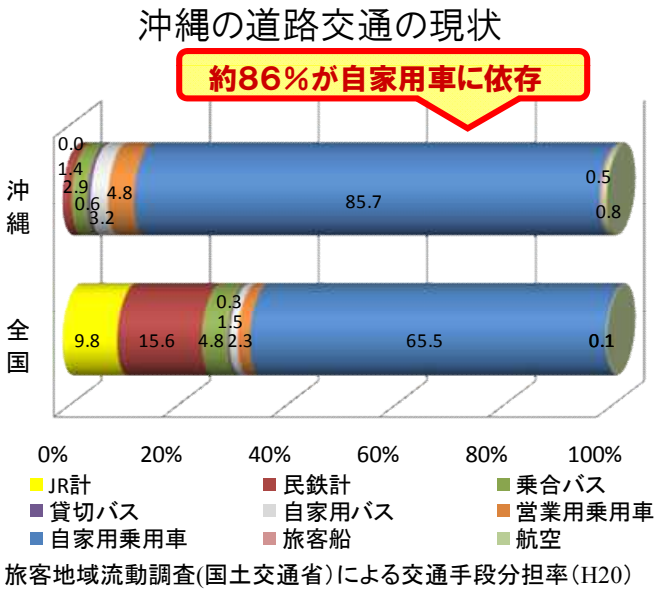
全国平均:13.42%

・母子世帯割合

沖縄県 :3.07%

全国平均:1.53%

※出典:100の指標からみた沖縄県のすがた(平成23年度版)



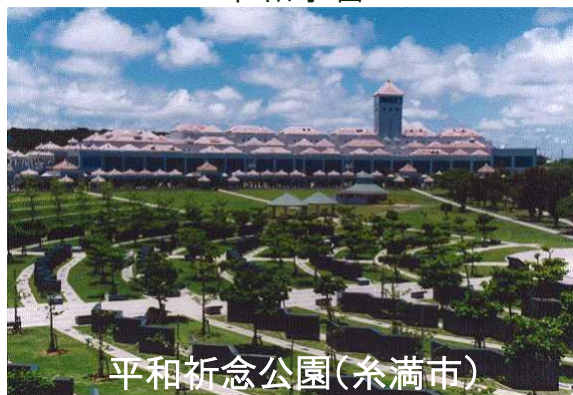
まちなか回遊マップ(石垣市)

④観光地の整備

ア)公園の整備

沖縄の歴史・文化、南国らしい気候・自然等の観光資源を活用し、修学旅行客(平和学習)や観光客、スポーツ合宿(プロ野球キャンプ)等の誘致や伝統文化の継承に寄与するような公園の整備に特徴があります。

平和学習



観光



自然(海浜景観)



観光



プロ野球キャンプ

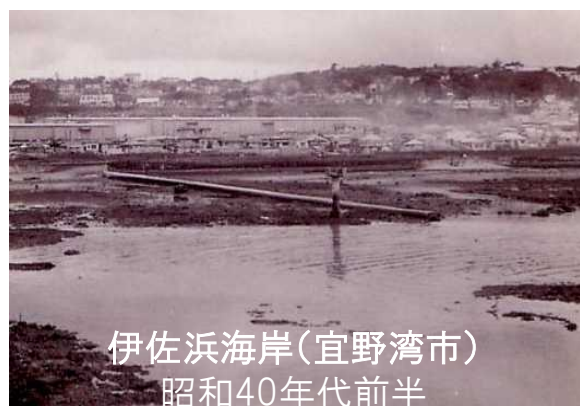
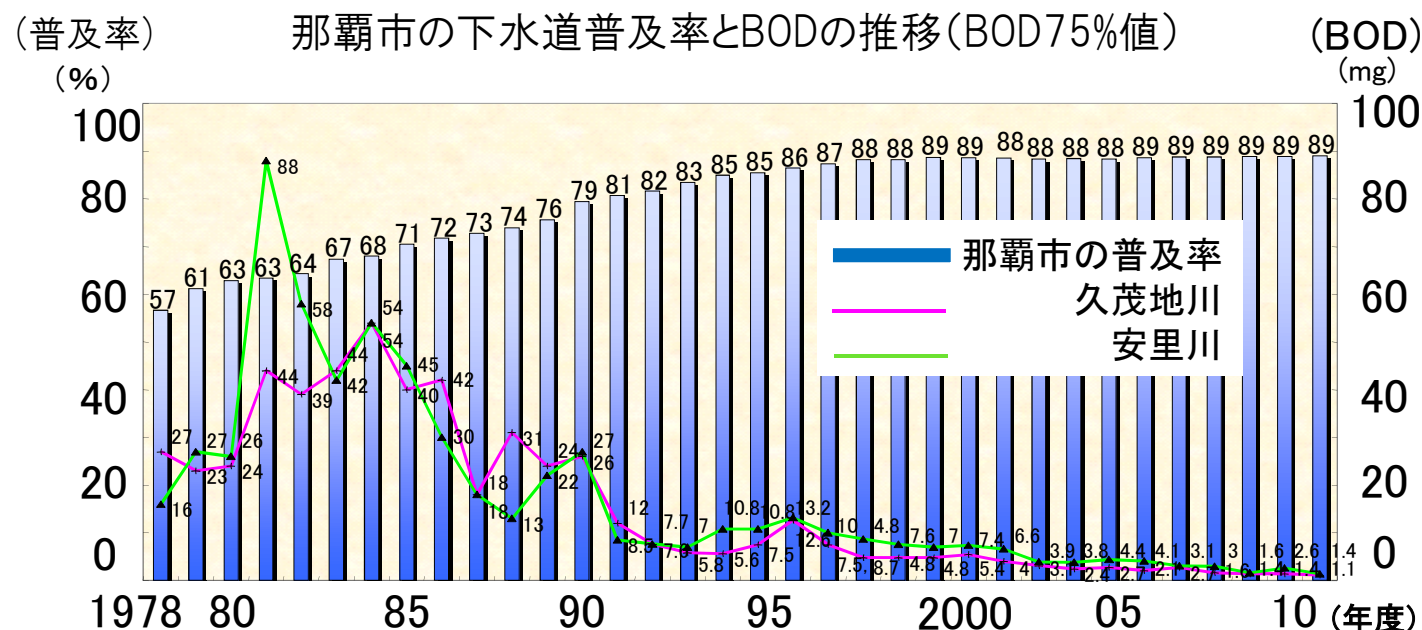


伝統文化(エイサー)



イ) 下水道の整備(水質改善により都市部にもビーチ)

下水道の整備によって川や海の水質が改善され、都市部でも人工ビーチが整備され、多くの県民・観光客に利用されています。



出典：沖縄県の下水道

⑤公営住宅の整備

沖縄県は県民所得が低く、公営住宅の対象層の割合が全国一高くなっています。また、復帰前後に多くの公営住宅が建設されており、塩害等により老朽化が進み、建て替えが必要となっています。このような中、沖縄らしい公営住宅の整備も行われています。

赤瓦で景観に配慮



久場川団地(那覇市)

1戸1台の駐車場スペース確保
(車社会への対応)



ピロティー構造による
駐車スペースの確保

久場川団地
(那覇市)



屋上緑化による断熱対策



久場川団地(那覇市)

通風性の確保による暑さ対策
花ブロックの設置



久場川団地
(那覇市)

欄間の設置

老朽化
塩害等によるコンクリート剥離が著しい



石嶺団地(那覇市)



通風性の確保

⑥地域資源を活かしたハード整備

沖縄特有の歴史・文化の復元、保護による地域資源を活かしたハード整備に特徴があります。

浦添御殿の墓復元整備（浦添市）

※浦添御殿の墓とは国王の子を祖とする浦添家の墓陵。



仲間桶川復元整備（浦添市）

樋川とは水が湧き出る井戸で、集落の日常飲用水、生活用水として利用



ハンタ道の整備（浦添市）

ハンタ道であったことが、分るわかるように路側を石張りにする整備が行われました。

※ハンタ道とは昔グスクとグスクを結んでいた道のことです。

2. 環境に優しいまちづくり

①沖縄らしい住まいづくり

南国の気候・風土に根ざし、豊かな暮らしを実現する住まいづくり
(高耐久性、暑さ対策等を考慮し様々な対策を行っている)

○昔の住宅: 赤瓦で、周囲を石垣で囲み、建物は壁が少ない



中村家住宅(国指定重要文化財)(北中城村)

○南国の気候・自然等に対応するための様々な工夫が行われています。



台風常襲地であることから
RC等の住宅が多い



看板でなく建物自体に
店舗、マンション名を塗装



壁面緑化(暑さ対策)



屋根の遮光塗装(暑さ対策)



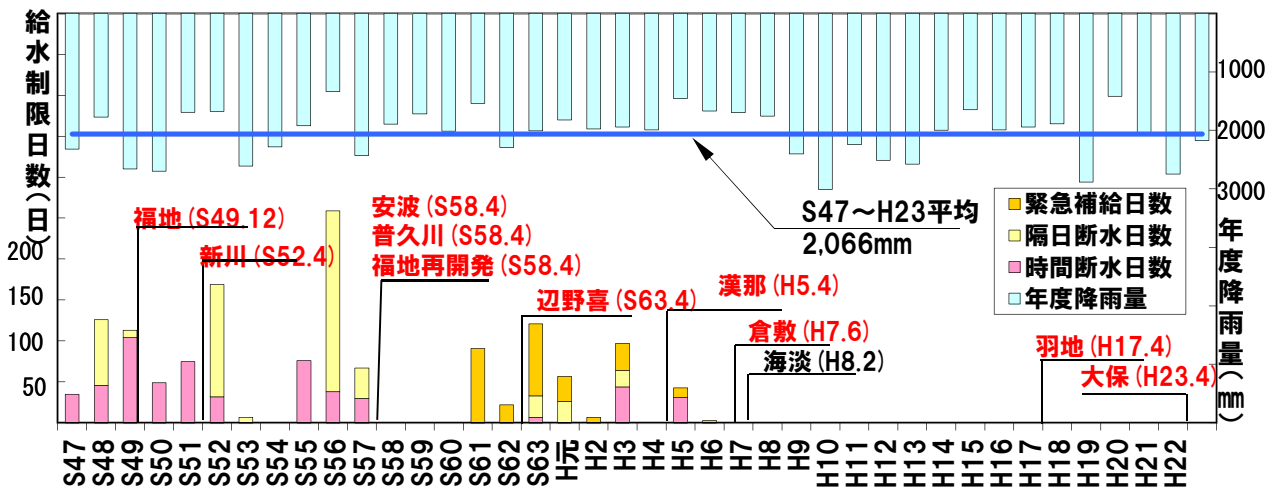
水タンク(湯水対策)



ピロティー (駐車場確保)

②水資源の有効活用

沖縄県では、以前は給水制限が頻繁にありました。ダム建設により、平成6年以降は給水制限は行われなくなりました。



下水処理水の有効利用

水の需要量は今後も増加すると思われ、水資源の有効活用が求められており、下水処理水を高度処理した「再生水」を活用する事業が行われています。

再生水の概要

用途：水洗トイレ洗浄用水、散水用の雑用水

- 利点
- ①天候に左右されず、安定的に供給
 - ②コストは上水より安価
 - ③上水と再生水の2つの水系統を保有することで災害時等のリスク低減

再生水を利用できる区域

再生水を利用できる区域図



サンエー那覇メインプレイス



沖縄県立美術館・博物館



さいおん・スクエア

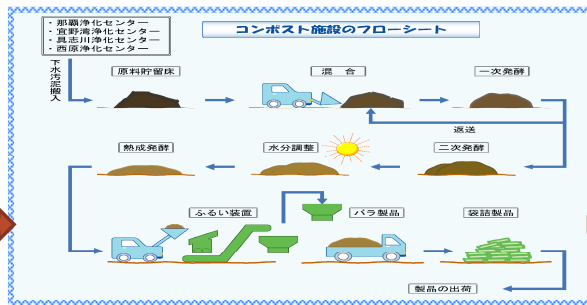
③未利用エネルギーの利活用(下水道整備)

下水汚泥や消化ガスなどが有効利用されています。

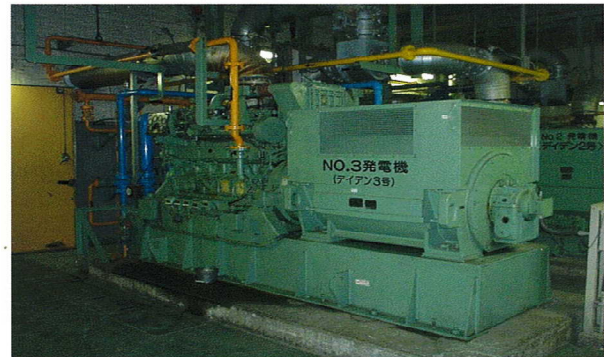
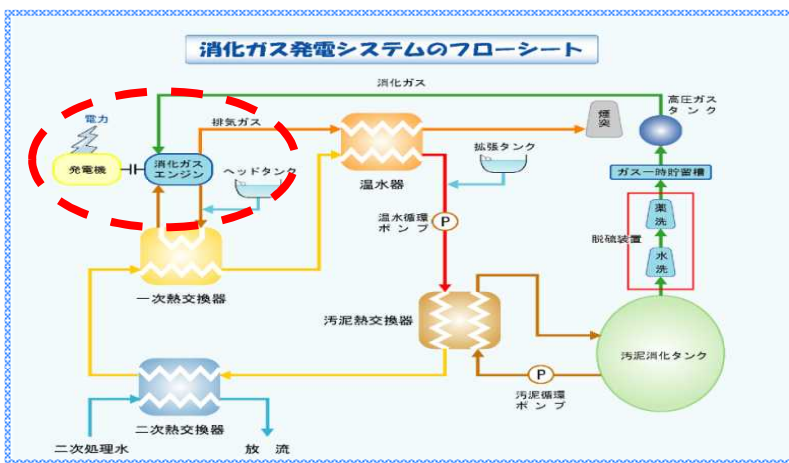
- ・下水汚泥は、殆どがコンポスト化され緑農地に利用
- ・消化ガスは、発電等にも有効利用
- ・消化ガスを施設外へパイプで運び、ボイラー熱源として直接利用する試み



汚泥消化タンク



コンポスト化施設
(民間事業者)



消化ガス発電機

消化ガスの有効利用



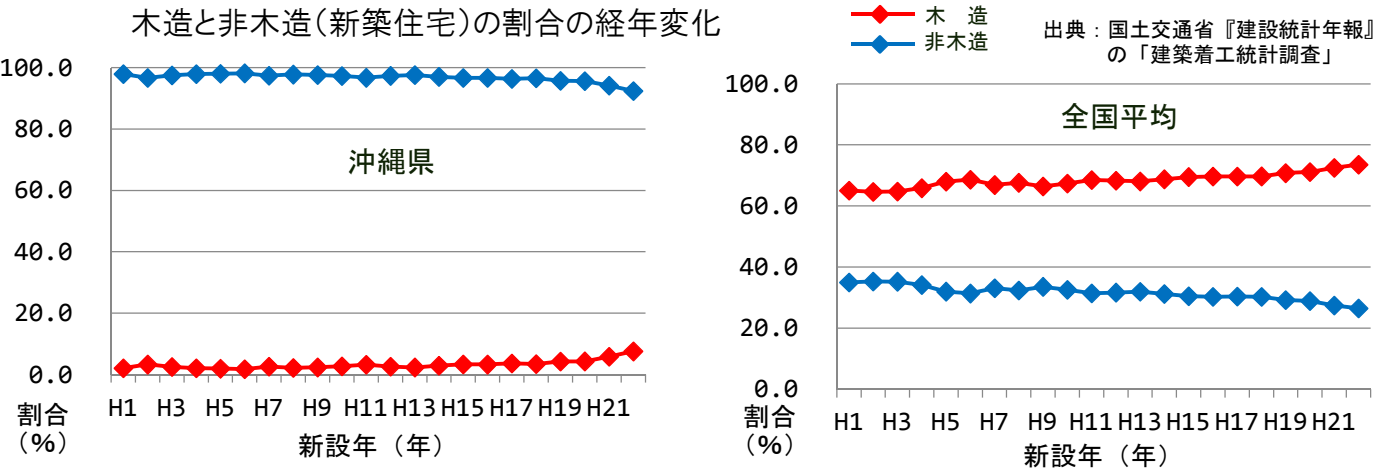
沖縄タイムス

3. 災害に強いまちづくり

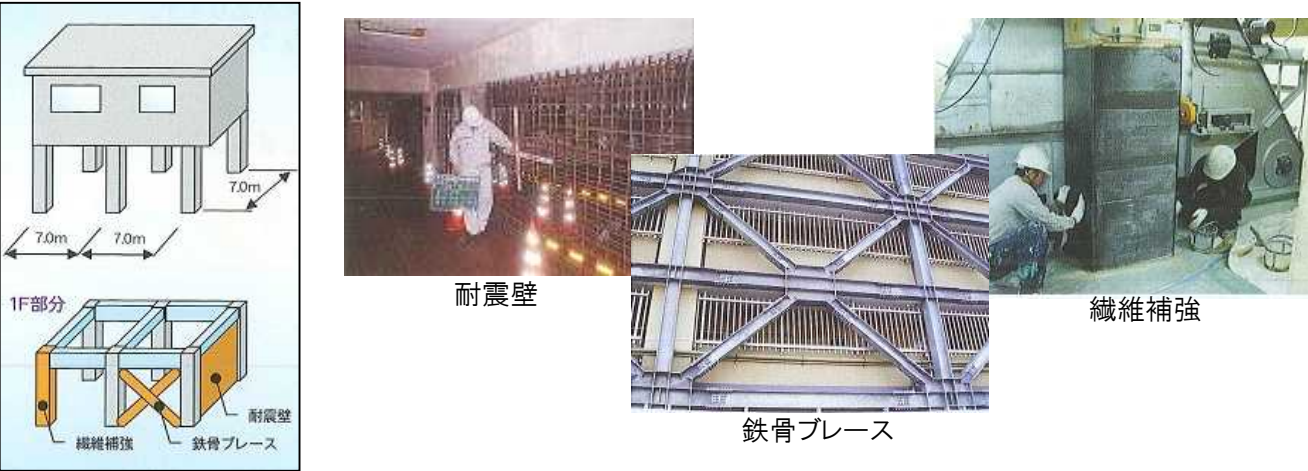
①住宅・建築物の耐震化

沖縄県では台風やシロアリ被害に強いRC造住宅が多くなっています。また都市部においては、駐車場を確保するために耐震性能の低いピロティ形式の住宅も多くみられます。

○木造が少なく、非木造建築(RC等)が多い



○ピロティー構造の耐震工法 出典：耐震診断改修のすすめ（沖縄県土木建築部住宅課）



○耐震について関心が高くなっている
RC造の耐震について連載



【琉球新報(週刊かふう)】

②公園を活用した防災拠点の整備

防災機能を備えた公共建築物や総合公園の整備による、災害時に
有用な防災拠点の整備が行われています。

避難地の整備



那覇新都心公園

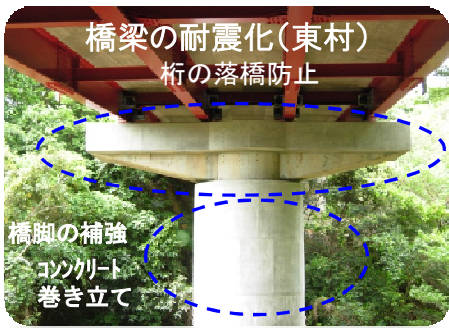
耐震貯水槽



那覇新都心公園

③防災インフラの耐震化対策（橋梁と下水）

被害を受けることが想定される防災施設、下水道施設等の耐震や液
状化対策が行われています。



下水道管更生
老朽化した下水道管



(沖縄県沖縄市)

再生した下水道管

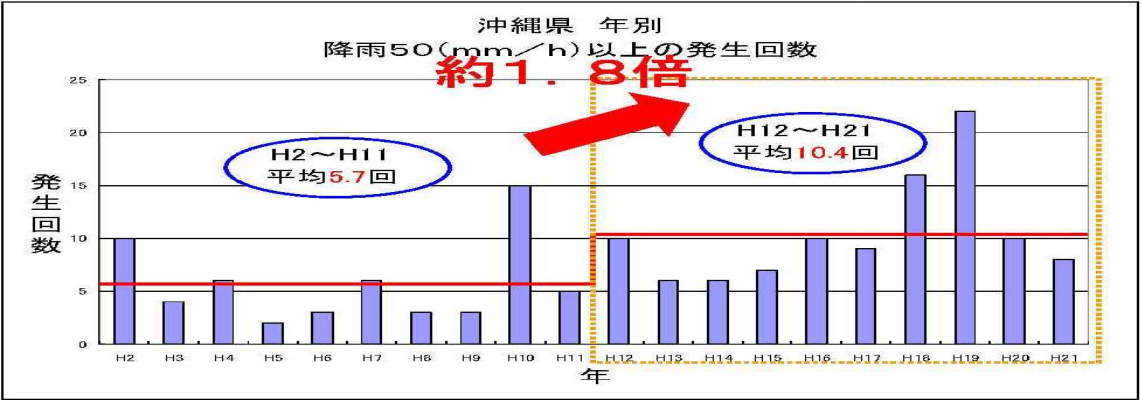


④集中豪雨等に対応した雨水対策

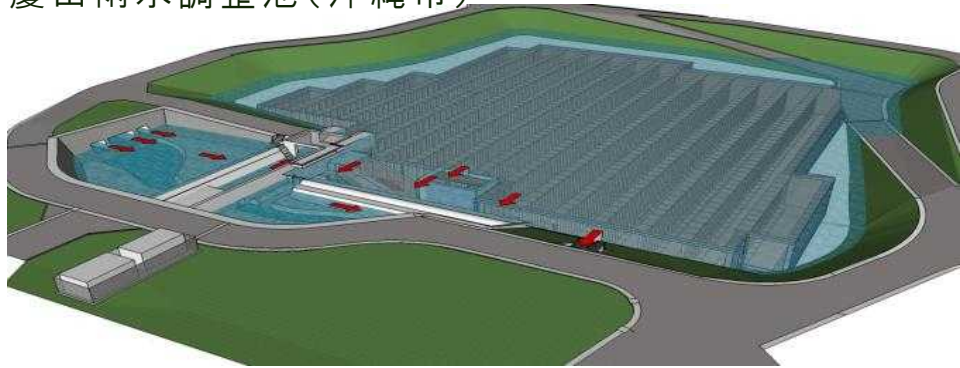
近年の集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う雨水流出量の増加による浸水被害が発生しています。このことから浸水に対する安全性を高めるため、雨水調整池の整備が行われています。

○年間降水量(H19)が全国1位となっており、雨水対策が重要となっている。
年間降水量 沖縄県 2,817mm(全国1位) 全国平均 1,412mm
出典：100の指標からみた沖縄県(H23年度版)

○時間降雨量50mm以上の回数が近年増加している。



安慶田雨水調整池(沖縄市)



平常時



満水時



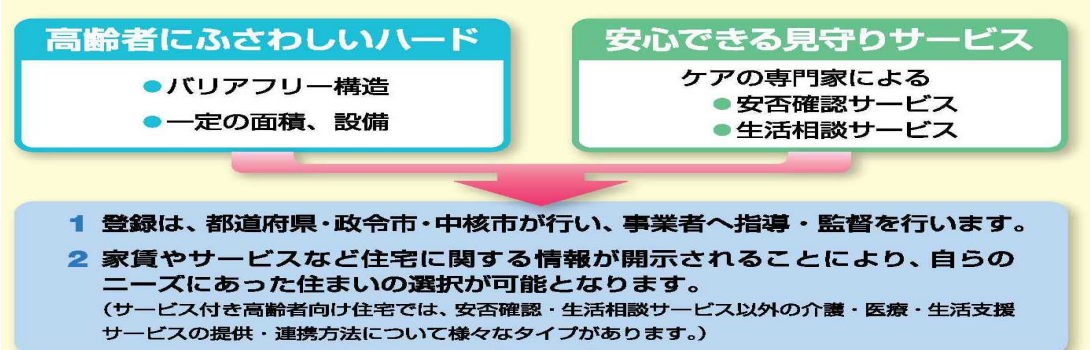
4. 高齢者が暮らしやすいまちづくり

沖縄県では、高齢者は家族(子供)と一緒に住んでいるイメージがありますが、全一般世帯に占める高齢者(65歳以上)単独世帯の割合は、全国平均の割合とほぼ同じであり、高齢者が暮らしやすいまちづくりも重要となっています。

安心して暮らせる高齢者向け住宅の整備

サービス付き高齢者向け住宅

「サービス付き高齢者向け住宅」とは高齢者単身・夫婦が安心して居住できる賃貸等の住まいです。



サービス付き高齢者向け住宅の都道府県別登録状況(H24.12末時点) 高齢者(65歳以上)単独世帯の割合
(出典:国立社会保障・人口問題研究所推計)



65歳以上千人当たりのサービス付き高齢者向け住宅戸数の割合

順位	県名	①サービス付き高齢者向け住宅戸数(戸) (H25年1月末現在)	②65歳以上人口(千人)	①/② 千人当たり戸数
1	鳥取県	1,032	156	6.615
2	徳島県	1,342	211	6.360
3	三重県	2,839	450	6.309
4	群馬県	2,897	479	6.048
5	沖縄県	1,436	243	5.909
6	北海道	7,426	1,382	5.373
7	広島県	3,712	693	5.356
8	長崎県	1,818	372	4.887
9	大阪府	9,818	2,013	4.877
10	山口県	1,882	406	4.635